

発行日 2015-2-17

改定日 2016-4-04

バージョン 3

## 1. 化学品及び会社情報

製品特定名  
化学品の名称

ThreeBond 6659

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

自動車整備用

供給者情報

社名

スリーボンドファインケミカル株式会社

住所・担当部門

神奈川県相模原市緑区大山町1-1  
生産技術部

緊急連絡電話番号

042-774-1333

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体

区分3

GHSラベル要素



注意喚起語

警告

危険有害性情報

H226 - 引火性液体及び蒸気

注意書き - 安全対策

- ・熱、火花、裸火のような着火源から遠ざけること。 - 禁煙
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・容器を接地すること / アースをとること。
- ・防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。
- ・火花を発生させない工具を使用すること。
- ・静電気放電に対する予防措置を講ずること。
- ・保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を使用すること。
- ・皮膚(または髪)に付着した場合: 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと / 取り除くこと。皮膚を流水 / シャワーで洗うこと。
- ・火災の場合: 消火に二酸化炭素、粉末消火剤、または泡消火剤を使用すること。

注意書き - 保管

- ・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

注意書き - 廃棄

- ・内容物 / 容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること。

**3. 組成及び成分情報**

単一の化学物質または混合物      混合物

化学物質名	濃度又は濃度範囲(%)	化審法	安衛法番号	CAS番号
シリコン樹脂、ポリシラザン	1-10	-	-	-
イソノナン	90<	-	-	-

労働安全衛生法 名称等を通知すべき危険物及び有害物は2016年6月1日より労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険物及び有害物とリスクアセスメント実施対象物質に該当します。

**労働安全衛生法**

規制区分	法文物質名	政令番号
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)	ノナン	432

**4. 応急処置**

吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移すこと。呼吸が不規則になった場合または停止した場合には、人工呼吸を施すこと。呼吸が困難な場合には酸素吸入を行うこと。
皮膚に付着した場合	皮膚を石鹼と水で洗うこと。
眼に入った場合	物質に接触した場合には、直ちに皮膚または眼を少なくとも20分間流水で洗うこと。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。医師の診断/手当てを受けること。
応急措置をする者の保護	医療関係者が物質の関与を認識し、彼ら自身の保護対策を講じていることを確認すること。
医師に対する特別な注意事項	被災者を暖かく安静にしておくこと。

**5. 火災時の措置**

引火性の特性	引火性が高い：熱、火花または炎で容易に引火する。 容器は熱すると爆発することがある。多くの液体は水より軽い。
消火剤	粉末消火剤、CO <sub>2</sub> 、水噴霧または通常の泡消火剤。直接水をかけてはならない。リスクを伴わずに行えるのであれば、容器を火災区域から移動させること
使ってはならない消火剤	警告：これらの物質は全て発火点が低い。消火を行う際に水を使用しても効果がないおそれがある。
特有の危険有害性	蒸気は空気と爆発性混合物を形成することがある。蒸気は発火点まで移動して逆火を引き起こすことがある。ほとんどの蒸気は空気より重いため、地面に沿って広がり低所または閉所(下水、地下室、タンク)に集まる。屋内、屋外または下水における蒸気爆発危険有害性。下水に流れ込むと火災危険有害性または爆発危険有害性を生じることがある。物質は高温の状態での輸送されることもある。
特有の消火方法	消火作業を行う者は、保護具(保護眼鏡、保護衣、呼吸用保護具等)を着用して、風上から消火する。

**6. 漏出時の措置**

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置	全ての点火源を排除すること。(近接区域では禁煙とし裸火、火花または火炎を排除する)製品の取扱時に使用する全ての器材は接地しなければならない。漏出物に触れたり、その上を歩いたりしないこと。リスクを伴わずに可能なら、漏出を止めること。
環境に対する注意事項	水路、下水道、地下室または閉めきった場所への侵入を防止すること。



分解温度	データなし
粘度	データなし

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	強酸化剤と反応し、火災の危険をもたらす。
避けるべき条件	加熱
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	燃焼すると条件によって有害ガスが生成することがある。

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

急性毒性(経口LC50)	製品としてデータなし。
--------------	-------------

### 毒性の数値指標 - 成分情報

#### 短期的及び長期的暴露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	製品としてデータなし。
--------------	-------------

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	製品としてデータなし。
-------------------	-------------

呼吸器感作性又は皮膚感作性	製品としてデータなし。
---------------	-------------

生殖細胞変異原性	製品としてデータなし。
----------	-------------

発がん性	製品としてデータなし。
------	-------------

生殖毒性	製品としてデータなし。
------	-------------

特定標的臓器毒性、単回ばく露	製品としてデータなし。
----------------	-------------

特定標的臓器毒性、反復ばく露	製品としてデータなし。
----------------	-------------

吸引性呼吸器有害性 製品としてデータなし。

## 12. 環境影響情報

生態毒性  
水生環境に対する急性危険有害性 製品としてデータなし。

水生環境に対する慢性危険有害性 製品としてデータなし。

残留性・分解性 製品としてデータなし。

生物蓄積性 製品としてデータなし。

土壌中の移動性 製品としてデータなし。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 国、都道府県、および市町村の規制に従って廃棄すること。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに依託して処理する。本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することはしてはならない。

汚染容器及び包装 使用済みの容器・ウエス等も、残余廃棄物と同様に処理する。

## 14. 輸送上の注意

### IMO/海上規制

UN/ID番号	UN1993
品名	Flammable liquid, n.o.s.
国連分類	3
容器等級	III
EmS - No	F-E, S-E

### ICAO/IATA/航空規制

UN/ID番号	UN1993
品名	Flammable liquid, n.o.s.
国連分類	3
容器等級	III

**ADR(EU)／陸上規制**

UN/ID番号	UN1993
品名	Flammable liquid, n.o.s.
国連分類	3
容器等級	III
ERG コード	3H

**国内規制**

国連番号	UN1993
品名	FLAMMABLE LIQUID, N.O.S.
国連分類	3
容器等級	III
船舶安全法	引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1)
民間航空法	引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)

**15. 適用法令**

労働安全衛生法 名称等を通知すべき危険物及び有害物は2016年6月1日より労働安全衛生法 名称等を表示すべき危険物及び有害物とリスクアセスメント実施対象物質に該当します。

**消防法**

第4類 第二石油類(非水溶性)

**労働安全衛生法**

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)

**16. その他の情報****発行日**

2015-2-17

**注記**

製品の特性等に関するお問い合わせは、ご購入先の営業所または株式会社スリーボンド お客様相談室までお願いします。お客様相談室 0120-56-1456

**免責事項**

危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。  
 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成されておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたもので、特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施願います。  
 この情報は、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。  
 この安全データシートは日本国内向けに作成したものですので、無断での翻訳及び海外向けの交付はご遠慮ください。製品を海外に輸出する場合には、仕向国の法令・規制等について事前にご確認ください。